県立須磨東高等学校 PTA 会長 藤原 章平

PTA 進路講演会のご報告

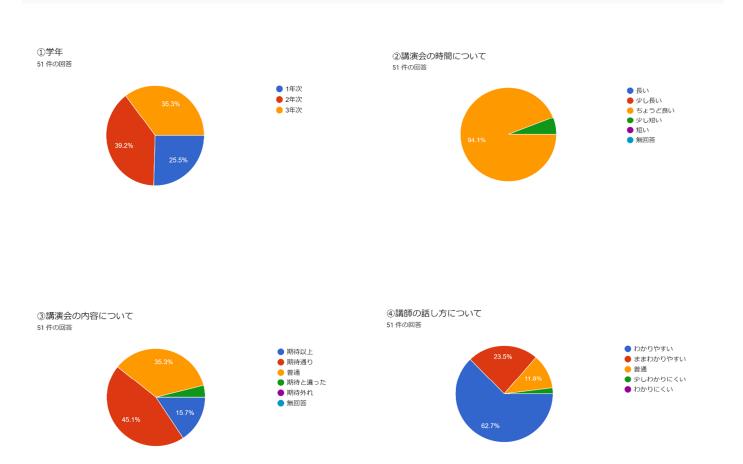
紅葉の候、PTA 会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは PTA 活動にご 理解とご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、10月18日に大学受験進学アドバイザー 伊藤 智(いとう さとし)氏をお迎えして進路講演会を開催いたました。ご多忙の中94名の参加を頂きました。また、須磨東高校の進路指導部から山本進路部長、前田先生にもご協力を頂きまして60分の公演時間を有意義に過ごすことができました。

つきましては、講演会終了後のアンケート結果を下記に掲載させていただきました。こちらを参考に次年度も 講演会を開催できたらと考えております。今後とも PTA 活動へのご協力を頂きますようお願い申し上げます。

なお、当日の資料がご必要の方は、PTA 事務局のメールアドレス(<u>sumahi gasipta@ybb. ne. jp</u>)まで、進路講演 会資料希望とメールをいただき、学年、クラス、お子様のお名前をお知らせください。後日、資料をお子様へお 渡しいたします。

【アンケート回答数 51名】



【感想】

(前半)

- *参加させて頂き良かったです。来年も参加したいと思いました。ありがとうございます。
- *1年生のうちに聞いていてよかったです。
- *大学受験のシステムを説明して頂きありがとうございました。
- *今3年生の保護者ですが、同じお話を1年又は2年生の時に聴きたかったです。 でも、現在受験祭真っ 只中の子どもに対しての接し方や意識の持ち方はすごく勉強になりました。
- *来年も参加したいです。
- *先生のお話がとてもわかりやすく、話に集中できました。ありがとうございました。
- *子供が高1、2年生の時に講演を聞きたかったです。
- *参考になりました。ありがとうございました。資料に関して、小さすぎて表が見にくかった。
- *進路をしっかり話し合って決めないと思いました。
- *子供が1、2年生の時に講演を聞きたかったです。
- *非常に分かりやすくて、色んな事を理解することが出来ました。また色んな分野の講演会を楽しみにしています。機会が有ればお願いします。
- *大まかな受験の日程や昨今の入試形態を分かりやすくお話しいただき、参加できてよかったです
- *今後の進路に向けて、親としても刺激になりました。ありがとうございました。
- *改めて情報収集の大切さを実感した。多様化する入試の選抜方法に戸惑っていたが、自分の武器は何かを 考えて利用する、最後まで諦めないこと、など基本の心構えを知ることができた。1年の時に聞いておき たい内容だと思った。

(後半)

- *受験の基礎の基礎 共通テストは何か、それが何に関わってくるのか等 受験の 0 からを知りたい。全く の無知なので 無知な人への受験とはという内容の集まりをしてほしい。
- *須磨東高校への大学推薦枠や推薦要項も知りたいです。
- *推薦について時期等、分かりやすく教えて頂き勉強になりました。公表できるかできないか分かりませんが、高校が持つ推薦枠についての説明も付随していたら尚良かったです。ありがとうございました。
- *このような機会を設けていただきありがとうございました。入試の現状など参考になりました。全学年保護者向けと別に、受験生の保護者向けの講演会もお願いしたいです。

【感想・後半】の質問に対して、進路指導部長からの回答を次の通りいただいております。

大学入学共通テストは、独立行政法人「大学入試センター」とこの試験を利用する各大学が協力し、同一日程、同一問題で行う試験です。毎年1月中旬の土・日曜の2日間に全国一斉で実施される日本最大規模の試験です。 2022年度入試では、志願者数が約53万人、そのうち、現役生が約85%を占めていました。

国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学入試を考える受験生にとって、この共通テストは必須といっても過言ではありません。

今年度は、2023年1月14日(土)および15日(日)に実施の予定で、本校からも90%以上の生徒が受験する予定です。出題方法は「マーク式」です。出題科目は、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目

で構成されています。

どの科目を受験すればよいかは、各生徒さんが受験する大学によります。合否判定に用いる共通テストの教科 数や指定教科(科目)は大学により異なるからです。受験に必要な教科数は、国公立大学では多くの大学が 5 教科 以上、私立大学の共通テスト利用方式では 2~3 教科が一般的です。国公立大学の一般選抜は、「共通テスト」の 得点と、大学別に実施される「2 次試験(個別学力検査)」の得点合計で合否を判定するケースが一般的です。

次に、学校推薦型選抜指定校推薦ですが、私立大学のみです。過去数年間の受験者数・入学者数や、指定校推薦で入学した生徒の入学後の成績などを考慮して、大学が特定の高校を指定し、一定の定員枠の推薦を依頼する制度です。出願資格・条件や人数等は年度ごとに検討、見直しが行われます。したがって、年度によって依頼される大学や学部・学科が変わります。一般的に夏休み頃、大学からの依頼があります。本校では、9月初旬に進路説明会を行った後、指定校一覧表を教室掲示する方法で生徒さんに連絡しています。9月中旬に校内選考会を実施し、推薦者を決定しています。注意点は、専願制(合格すれば必ず入学しなければならない制度)ですから、指定校で推薦され、合格した人は、どのような理由があろうと取り消しはできません。

もう少し詳しい内容は、1 学期の配付させていただきました「令和 4 年度 進路の手引き」 $(p2\sim p19)$ に掲載させていただいています。

また,指定校推薦での4年間の進学状況(依頼数・進学者数)についても,「令和4年度 進路の手引き」(p40~p49)に掲載させていただいています。

上記以外にも「進路の手引き」には、希望進路に向けて、受験勉強のポイントや進学費用、奨学制度等を詳しく説明しています。最後には、「受験体験記」~先輩から後輩へ と題して、この春、合格を勝ち取った先輩からのメッセージを掲載しています。ご一読いただき、上手に活用していただければと思います。



講演会の様子







また、進路講演会の1時間前から厚生委員さんによる制服のリユース販売も行いました。22点4,400円の売り上げがございました。ご協力いただきありがとうございました。生徒会の方へ寄付させていただきます。

須磨東高等学校 PTA 事務局